

## おおさか支局

〒530-8251 (住所不要)

毎日新聞社会部おおさか支局

TEL 06・6346・8443

FAX 06・6346・8444

メールはat-osaka@mainichi.co.jp

読者の皆さんの取り上げてほしいテーマなど、お寄せください。

## 【購読お申し込み】

フリーダイヤル 0120-468012

## 大阪

## NPO法人「電線のない街づくり支援ネットワーク」

## 目指そう!! 景観すっきり

普段、そうそう意識することはない。それが当たり前になっていくから。でも、ちょっと立ち止まって想像してみたい。空を見上げた時、頭上に張り巡らされた電線や電柱が全くない光景を。きつと、びっくりするほど晴れ晴れとしているはず。それこそ、見違

えるばかりに。

ク(大阪府吹田市)。都市計画のエキスパートや住宅・資材メーカーなどが参画する専門家集団だ。地中に埋めたりして無

電線・無電柱にするメリットは、何と言っても景観がすっきり美しくなること。観光地にとっては特に影響が大きい。それから、地震や台風などの際、倒壊や感電の危険性がなくなると災害に強くなる点が挙げられる。さらに、歩道が広くなるので普段から歩きやすくなる。利点がいっぱいなので、国も無電線・無電柱化を積極的に推進している。

この指とまれ



「日本で無電線・無電柱化が進むには、国民の意識改革が必要」と話す井上利一さん(大阪府吹田市)

同ネットワーク理事で事務局長の井上利一さん(60)によると、欧米では「電柱は地中に埋めるもの」というのが常識で、

## ◇NPO法人「電線のない街づくり支援ネットワーク」◇

ロンドンやパリの無電柱とともに標準化したから化率は100%だそうらしい。新たに建てた電柱と地中に埋めるなどしなんかも同様。一方、東京23区内は8%、大阪市内は6%に過ぎないというから、その差たるや歴然。

そもそも日本が「電柱大国」なのは、太平洋戦争で焼け野原になった状況から早く脱するため、比較的安価で工事が容易な電柱を用いて電気を引き、その手法が経済復興

【中川博史】

2007年設立。専門家向けの技術面・法律面に関するセミナー開催や地域、デベロッパー、行政へのノウハウの提供、研究開発などが主な活動。大阪府吹田市内本町1-1の21 電話(06・6381・4000)。ホームページ(<https://np-onpc.net/>)。

## 【峰本浩二】

秀吉の躍進(3月23日まで)は、小牧合戦時に秀吉が秀長に送った手紙や、山崎合戦図屏風、秀吉所用と伝わる桐文時絵軍配など31点を展示。本能寺の変から関白就任までの3年間の秀吉の動向を紹介している。担当者は「戦国時代で

## 浪速書道展 17日開幕

天王寺 会員作品など2600点

第91回浪速書道展(毎日新聞社など後援)が17、23日、大阪市立美術館天王寺ギャラリーさん、同展会員の大神

さん、田面遙華さん、田中瑞鳳さん、福田智武さん、藤原英幹さん、矢野麗舟さん、山中佳華さん、吉田慧堂さんらの作品の他、浪速書道会役員、同一般会員と幼小中高生の作品約2600点を展示する。午前9時半〜午後5

巨兄弟!」ゆかりの地  
で企画展続々  
でPRキャンペーン



見入る来場者  
—大阪府中央区の大阪城天守閣で